

水稲、大豆、大麦、たまねぎ、ミニトマト、ほうれんそう／多様な輪作体系、効率化、健全な運営

仲間（ぱる）とともに復興を支え、地域を耕す ～株式会社ぱるファーム大曲（宮城県東松島市）～

経営体の概要

設立年度：平成24年
基幹作物：水稲
経営面積：28.0ha

現在：令和7年
基幹作物：水稲、大豆、大麦、たまねぎ、ミニトマト、ほうれんそう等
経営面積：101.0ha

土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【当初】

●前歴事業で造成された基幹的農業水利施設の老朽化により農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、近年の降水量の変化に伴う排水量の増加による湛水被害が生じ、効率的な営農に支障が出ている。



水田の湛水被害

【現在】

●国営河南二期事業（H28～R11）により、老朽化した基幹的農業水利施設を改修することで、農業用水を安定供給するとともに、排水量の増加に対応した排水システムの再編により、湛水被害の軽減を図ることで農業生産の維持及び農業経営の安定に貢献している。

営農改善、経営転換等のポイント

①復興後、水稲単作から多様な輪作体系へ

震災後の営農再開にあたり、復興交付金によるほ場整備により大区画化や農地の集積を進め、本事業により基幹的農業水利施設を改修し、湛水被害が軽減したことにより、効率的な作業が可能となり、経営規模を拡大している。水稲単作から大麦、大豆による2年3作体系を導入し、たまねぎや施設野菜を加え、年間を通じた雇用を確保する多様な輪作体系へ転換し、経営の安定化と農地維持・保全に努めている。



大麦の収穫作業

②スマート農業技術等の活用による効率化

県設置のRTK基地局を活用し、ドローンや直進アシスト機能付きトラクター・田植機などスマート化することにより、田植え、大豆播種、防除、追肥など幅広い作業を効率化するだけでなく、後方の確認作業などオペレーターの作業中の負担も大幅に軽減。また、育苗作業では播種から積載まで全自動化し、1時間あたり約1,000枚の播種作業を可能とし作業負担を軽減、作業効率が大幅に向上している。



ドローンによる農業散布

③冬期の生産活動と健全な農業経営の実現

冬期は、従業員の力を活かすため、ミニトマトやほうれんそうの栽培、大豆の乾燥・調製、大豆種子の手選別に取り組む。また、猛暑への対策として従業員の体調負担を考え、ミニトマト栽培を年2作から1作に変更、健全な運営と持続可能な農業経営を目指している。



ミニトマトの施設栽培

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：宮城県石巻市、東松島市、涌谷町、美里町
受益面積：4,707ha
事業期間：平成28年度～令和11年度
事業目的：揚排水機場の改修及び統廃合、排水システムの再編及び一部施設の耐震化
主要工事：揚水機場改修4箇所、排水機場（改修1箇所、新設2箇所）、用水路改修L=17.4km、排水路改修L=4.8km、水管理施設改修一式

位置図



河南二期地区

<問い合わせ先>

東北農政局
農村振興部農地整備課
競争力強化事業推進担当
電話：022-263-1111
内線（4460, 4201）

（令和7年度調査時点）